

# 学校関係者評価委員会

## 令和2年度 第1回委員会議事録

日 時：令和2年10月8日(木)18:00～20:00

場 所：146教室

出席者：藤田会長・丸山委員・奥田委員・相賀委員・山崎委員・大槻委員・田中委員  
大和委員・森本委員（順不同・敬称略）

オブザーバー：山下理事長・堤下校長・見邨副校長・谷川・増田・鍵谷・釜友・山本  
野瀬・明石・亀井・藤本

### 1. 開会挨拶

校長から開会挨拶及び、報告書の説明

藤田会長挨拶

山下理事長挨拶

### 2. 新委員紹介

住環境リノベーション学科副科長・山本順也の紹介

### 3. 議事内容説明

堤下校長より議事内容の説明が行われた

### 4. 議案

各科からの説明及び質疑が行われた。

1) 2019年度学校自己評価報告書について

2) その他

■建築学科：増田科長、建築CGデザイン学科：見邨、空間デザイン学科：鍵谷科長より2019年度学校自己評価報告書に沿って、教育活動及び学修成果について報告がなされ、質疑応答とした。

□藤田委員：本年のインターンシップの状況はいかがであったか

- ・増田：企業により違いがあり、本年に関してはZOOMなどのリモート活用がみられる。
- ・山下：オンラインによる合同企業説明会や会社現場体験を実施することにより、2年生はもとより、1年生においても合同企業説明会に参加する学生もいた。

□大槻委員：建築分野におけるコロナの影響はどうであったか。

- ・堤下：今のところ大きな影響はないと判断している。  
安全対策を施したうえで、通常通りに授業等を動かしている。
- ・山下：4月末に約3000社にアンケート調査を実施し、500社からの返信を得て、影響なしと回答した企業がその90%であった。  
求人数も昨年同日比で、約100社増となっている。

- ・山崎委員：土木分野も設計及び建設ともに、順調に動いている  
予算においても、国が地元に対してつけている状況である。

□相賀委員：教職員の頑張りについて教えて欲しい。

- ・増田：クラス数に対し、校長により教員数の確保も問題なく行えている。  
建築4団体の人脈もしっかりとつながりを持ち続けて頑張っており、高評価を得ている。

■住環境リノベーション学科：山本副科長、第二本科建築学科：増田科長、専科2級建築士科：釜友科長より2019年度学校自己評価報告書に沿って、教育活動及び学修成果について報告がなされ、質疑応答とした。

□丸山委員：大工職の希望者が増えていることについて考えられる要因は何か。

- ・山本：TV等メディアの影響を受けた学生が多く、中には高校在学時に通学路にある現場の進捗を毎日見ていることがきっかけであるという学生もいる。

□丸山委員：専科2級建築士科の本年度学科試験の状況を説明してほしい。

- ・釜友：本年度はコロナ禍の特殊条件もあり、科としては期待値を下回る結果となった。

■土木工学科・建設エンジニア学科：野瀬科長、ガーデンデザイン学科：明石科長より、2019年度学校自己評価報告書に沿って、教育活動及び学修成果について報告がなされ、質疑応答とした。

□山崎委員：建設エンジニア学科の就職が決まらなかった学生の原因は何か。

- ・野瀬：保護者の希望と本人の思いに差があったことが原因である。

□山崎委員：コンクリートカヌーの本年度の大会について教えて欲しい。

- ・野瀬：コロナ禍であり、学校として参加しない方針を取った。

□相賀委員：自治体との連携状況について説明してほしい。

- ・明石：大阪市西淀川区主催のセミナーに参加した。  
本校の参加をきっかけに、全体の参加者が増え、緑化推進に貢献している。  
学生の自信につながる好影響がみられる。

□丸山委員：社会貢献や官民連携にかかる費用について、西淀川区を事例に教えて欲しい

- ・明石：交通費については発生無し、必要な材料費については西淀川区の負担である。

■その他の意見

□山崎委員：土木は景気が良く、就職においてミスマッチのないよう継続して指導してほしい。「作った物を見せられる」このことがいい。

□奥田委員：業界の求人においてはCADオペレーターからBIMオペレーター・マネージャーへの変化が見られ、また求職者も多いことから継続して技術者養成に注力してほしい。BIMは教えやすく習得も早いのではないかと考える。

□田中委員：コロナ禍において、地域の行事も減少傾向であるが、引き続き連携を進めていきたいと考えている。

#### 5. 次回開催日時等

日時：令和3年2月中旬（後日案内）

場所：修成建設専門学校146教室

（記録文責：亀井・見邨）